NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を学習に生かす

2．学校名

北海道札幌市立平岡公園小学校

3．実践者名（代表者名）

和田敬介

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　34人

6．単元（本時の学習課題）名

「くらしを支える情報」

7．目標(狙い)

新聞のテレビ番組欄を見て、1日のうちにたくさん天気予報が流れていることに気づくとともに、その理由を考えることができる。

8．評価の視点

みんなが知りたいときに、最新の情報を知らせることができるように、たくさん放送していることに気づくことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「くらしを支える情報」（教科書教材）8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①天気予報はどんなときに必要かを考える。
②新聞のテレビ番組欄を見て、どうして天気予報は１日のうちにたくさん放送しているのかを考える。
③テレビ放送局の天気予報の内容を調べる。
④ニュース番組はどのようにしてつくられえいるのかを調べる。
⑤学習したことをもとにニュース番組をつくる。

（留意点）
・普段何気なく利用している気象情報について関心をもたせる。
・天気予報のマークに蛍光ペンなどで着色させる。
・どんな人がどんな天気予報を必要としているか考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

雲の動きによって天気が変わるから、常に最新の情報を流していることや、1日のうちでみんなそれぞれ、情報を必要とする時間帯がちがうということを気づいていた。

12．成果と課題

新聞を活用する授業を計画的に組み込んでいくことができず、なかなか新聞利用に使える時間がとれなかった。新聞の活用は難しい面もあるが、計画的・継続的にふれさせていくことで、もっと身近に感じさせていくことができると思う。身近に感じることができれば、子どもたちの興味関心や授業の幅も広がっていく。テレビ番組欄、4コマまんが、スポーツ欄に興味を持つように、他の記事に子どもに興味を持たせることが重要である。